

グループ会社含め 改善事例12編発表

NIPPO

NIPPOは、16回目の「グループ改善事例発表会」を東京都中央区のMEET INGSPLACE東京八重洲で13日に開いた。写真（NIPPO提供）。現地には120人が参加し、30カ所以上からウェブ参加もあった。技術系と事務系の全部署を対象に、品質や生

産性向上、ICT、働き方改革、担い手確保などの取り組みに関する改善事例を発表。グループ会社を含む12支店の79編から選んだ改善事例12編を発表した。

和田千弘社長は「第一線で目の前にある仕事に自ら問題意識を持って取り組んだ成果だ。現場でお客様に接する第一線の皆さんの改善こそ、当社が掲げる『確かなものづくり』で重要になる。発表成果を共有してほしい」とあいさつした。

審査では「合材工場における合材温度の測定精度の改善」を最優秀事例に選んだ。



第一線の取組み共有

NIPPO

NIPPOは13日、東京都中央区のMEETING SPACE東京八重洲で「第16回NIPPOグループ改善事例発表会」を開いた。東京会場に120人が参加したほか、30力所を超える他会場からのウェブ参加もあった。

改善事例は、技術系部署に加えて、総務や営業といった事務系部署を含む全部署が対象となる。品質、生産性向上、ICT、働き方



改革、担い手確保などをテーマとした12編の改善事例が共有された。

和田千弘社長は「本発表会の事例は、それぞれが第一線で目の前にある仕事に自ら問題意識を持って取り組んだ成果であり、自信を持って発表してほしい。現場で顧客に接する第一線の方々の改善こそが当社が掲げる『確かなものづくり』において重要な取り組みだ。今回の発表成果を全社で共有してほしい」とあいさつした。写真。

井出将哉常務技術本部長は「現場ではさまざまな課題があり、本日の発表以外にも改善すべきことがある。そのことにも引き続き改善の取り組みを継続してほしい」と総括した。

審査の結果、最優秀賞には「合材工場における合材温度の測定精度の改善」が選ばれた。優秀賞2編、審査員特別賞2編も選出された。